

第2期 大仙市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 概要版

～ ふるさとに責任と誇りを持ち 未来につなげるだいせん創生 ～

令和2年3月
大仙市

1 策定背景と位置付け

(1) 第1期総合戦略の振り返り

○国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受け、「第2次大仙市総合計画」との整合を図りながら、人口減少の緩和、地方創生に効果が高いと見込まれる施策を抽出し、「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定、4つの基本目標のもと、取組を進めてきました。

- 基本目標1 地域資源を活かす産業の振興
- 基本目標2 魅力あるまちづくりと移住・定住の促進
- 基本目標3 大仙の明るい未来へ～子どもの誕生を地域で応援～
- 基本目標4 住みよいまち、心豊かに暮らせる地域づくり

(2) 人口の動向

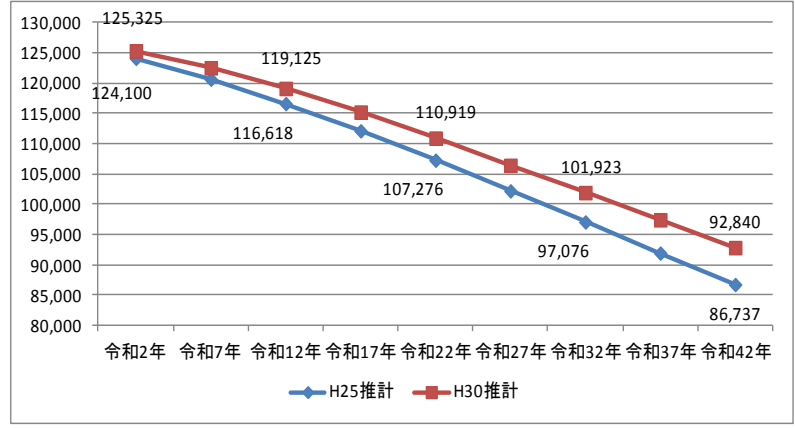
○日本の総人口は、平成30年10月1日時点で1億2,644万3千人と8年連続で減少しており、高齢化率は過去最高の28.1%を記録しています。

○最新の国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」とします。）の推計によると、人口減少の速度や高齢化の進行度合いは前回推計から幾分緩和されていますが、依然として深刻な状況にあります。

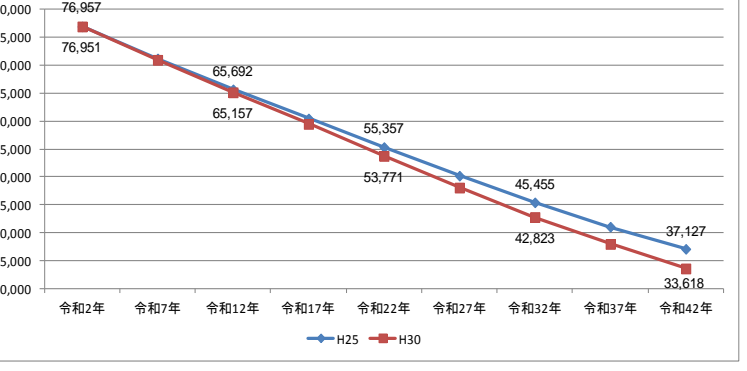
○人口の地域分布では、依然として東京一極集中の状況が続いており、東京圏には総人口の約3割が集中し、転入超過者のうち15～29歳の若年層が12万人を超えているほか、女性の転入超過数が増加傾向にあります。

○一方、令和27年における総人口が2割以上減少した市町村は全国の7割以上を占めるなど、人口の偏在がより顕著となっています。

■日本の総人口推計



■大仙市の人口推計



○本市の人口は、平成12年に10万人を割り込み、ここ20年間は年間約1,000人程度の人口減少が続いています。

○最新の社人研推計によれば、前回推計よりも5年早い令和27年に5万人を割り込み、約48,000人と推計されています。

○平均寿命の伸長に伴い高齢者人口及び高齢化率は上昇しているものの、全国的な動向とは反対に、年少人口と生産年齢人口は減少が加速するなど、厳しさを増している状況にあります。

(3) 第1期総合戦略の効果検証

○基本目標ごとに定めた数値目標及びKPIについては、全体の約55%において目標を達成しています。

○一方で、43%については達成が困難となっていますが、進捗率が60%に満たないものは17件であり、全体的にみれば概ね順調に進捗しているものと認識しています。

○基本目標別でみると、「基本目標3 大仙の明るい未来へ～子どもの誕生を地域で応援～」 「基本目標4 住みよいまち、心豊かに暮らせる地域づくり」において達成が困難とされたものがありました。

評価区分	全数値目標及びKPI	数値目標	各施策のKPI
① 目標達成済み	36件 (36.7%)	4件 (50%)	32件 (35.6%)
② 目標達成が見込まれる	18件 (18.4%)	1件 (12.5%)	17件 (18.9%)
③ 目標達成が困難	42件 (42.9%)	3件 (37.5%)	39件 (43.3%)
④ 実績値を把握できない	2件 (2.0%)	0件 (0%)	2件 (2.2%)
合計	98件	8件	90件

- ※評価区分
- ①現時点で目標を達成している
 - ②現時点で目標を達成していないが、最終年度(R1)中の達成が見込まれる
 - ③現時点で目標を達成しておらず、最終年度中の達成が困難と見込まれる
 - ④現時点で実績値を把握できない

(4) 第2期総合戦略の策定趣旨

○人口動向や将来人口の推計、第1期総合戦略に掲げた数値目標やKPIの進捗状況から、人口減少は予断を許さない状況にあり、本市の創生は未だ道半ばにあります。

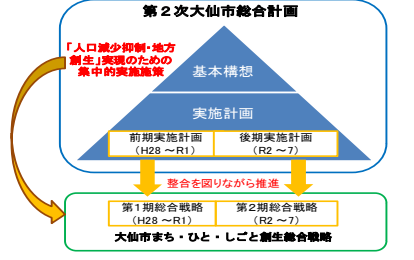
○適正な人口の定義は存在しませんが、出生率を人口置換水準に回復させることが、人口の規模及び構造を安定させ、活力ある大仙市を維持していく上での必須条件であり、継続的に取り組むことが重要です。

○今一度、本市が消滅可能性都市に含まれているという危機感を、市民の皆さんをはじめ企業や団体等と共有するとともに、第1期総合戦略期間中にも毎年1,000人程度の人口が減少しているという現実を受け止め、この難題に「オール大仙」で果敢に立ち向かうべく、第2期総合戦略を策定するものです。

(5) 位置付け

○総合戦略は、「第2次大仙市総合計画」に包含され、同計画の中から「人口減少抑制・地方創生」の実現のために効果が高く、集中的に実施すべき施策・事業をまとめたものです。

○そのため、第2次大仙市総合計画後期実施計画との整合を図りながら施策を検討しています。



(6) SDGsと総合戦略の関係

○本市の総合戦略で取り組む方向性は、スケールこそ異なるものの、国際社会全体の開発目標であるSDGsの理念、17の目標と軌を一にするものであり、本戦略の推進を図ることがSDGsの目標達成にも資するものと考えています。

○本戦略の策定にあたっては、総合戦略に掲げる14の戦略パッケージとSDGsにおける17の目標との関係について整理し、その達成に向けて取組を推進します。



2 基本方針と基本目標

(1) 人口の将来展望と目標人口

令和47年（2065年）に4万2千人の人口を確保します

○将来の人口を展望する「人口ビジョン」と、それを実現するための具体的な施策を示す「総合戦略」は、いわば『車の両輪』です。

○「大仙市人口ビジョン」の改訂にあたっては、人口減少のステージや人口構造、社会増減の目標を定め、総合戦略で取り組むべき施策の検討を行うとともに、その効果を織り込みながら戦略的に目標人口を設定しています。本戦略の推進にあたっては、人口の将来展望への効果を常に意識しながら各施策を検討、実施します。

(2) 基本方針

○令和という新時代の幕開けと大仙市誕生15周年の節目の年を、市民の皆さんとともに取り組む「だいせん創生」の新たな一歩と位置付け、本市が次なるステージへと希望の花を大きく咲かせ、全国に元気を発信できるよう「明日の大仙を拓く新たなチャレンジ」を積極果敢に推進します。

○人口ビジョンで浮かび上がった課題、大仙市総合戦略推進会議での意見等を参酌しながら、次の4つの方針に基づき、取り組みを進めていきます。

基本方針

①「しごと」を起点とした好循環の確立・推進

本市への人の流れを創り、定住を促進し、結婚や出産、子育ての希望をかなえるためには、質が高く、安定した雇用が最も重要な基盤となることから、「雇用の質」の向上、「雇用の量」の確保に努め、しごとを起点に「まち」「ひと」「しごと」の好循環を確立します。

②人口の社会増対策の推進

「移住・定住促進アクションプラン」に基づく取組や企業誘致、創業支援、ふるさと教育の推進などにより定住対策を中心に取り組み、Aターンをはじめとする移住も促進します。

③人口の自然増対策の推進

出会いから結婚、出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援制度の構築に加え、女性の活躍推進や男性の育児参加を促進し、合計特殊出生率の向上と出生数の増加を図ります。

④持続可能な地域づくりの推進

人口減少社会にあっても地域の暮らしを守り、地域コミュニティを維持するため、地域の実情に合わせ、地域での支え合い、いわゆる共助や互助の取組を支援・推進するほか、都市機能の集約や公共交通の充実を進めます。

(3) 基本的視点

- ①国及び秋田県の総合戦略との整合
- ②第2次大仙市総合計画との整合
- ③人口ビジョンに基づいた施策の展開
- ④新たな視点

「関係人口の創出・拡大」「Society5.0の実現に向けた未来技術の活用」など、国において重点を置いて施策を進めるとしている新たな視点にも留意しながら取組を進めます。

(4) 基本目標

- 人口減少は、日本社会の構造的な変化とその背景にある人々の価値観にまで踏み込まなければ、真の解決に至らない難しい問題であり、息の長い取組を続けることが必要であることから、国が示す枠組みを維持しつつ、第1期総合戦略に掲げた基本目標の趣旨、施策等を基本的に引き継ぐこととします。
- また、人口減少への対応としては「積極戦略」と「調整戦略」の大きく2つの方向性が考えられます。
- 「積極戦略」は、人口の流出防止や出生率向上により人口減少に歯止めをかけ、将来的に人口構造そのものを変えていこうとするもので、いわば「攻めの戦略」です。「調整戦略」は、仮に出生率の向上が図られたとしても、今後しばらく人口減少は避けられないことから、人口減少に対応した持続可能な地域を創る「守りの戦略」です。
- この二つの対応を同時並行的かつ重層的に進めることも念頭に、次の4つの基本目標を定めました。

基本目標

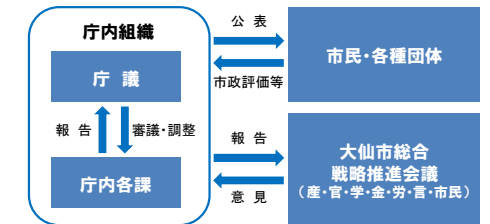
- 基本目標1 **だいつんの未来を拓く 地域産業の振興と新産業を育むまちづくり**
- 基本目標2 **魅力にあふれ 愛着と誇りが持てる 新たな人の流れを生むまちづくり**
- 基本目標3 **結婚・出産の希望をかなえ 子育てに喜びと安心を感じられるまちづくり**
- 基本目標4 **地域の生活を守り 未来につなぐ 元気あふれる地域づくり**

(5) 計画期間

計画期間は、第2次総合計画後期実施計画との整合性を図るため、令和2（2020）年度から令和7（2025）年度までの6年間とします。

(6) 効果的な推進と適正な進捗管理

総合戦略の進行管理にあたっては、基本目標ごとの数値目標や重要業績評価指標（KPI）の達成状況に基づき、PDCAサイクルによる評価検証を行い、結果については、市のホームページなどを通じて公表します。



3 重点施策と基本目標

(1) 重点施策

農業を元気で魅力ある産業へ

①新時代に向けた農業振興策の強化

先人が守り継いできた農地が育む「コメ」は、今や全国第2位の生産量を誇るまでに至っています。さらに農業者のたゆまぬ努力は、本市を県内一の大豆の産地に押し上げました。

この強みを大切にしながら、仙北平野に広がる恵まれた地形を最大限活かした特色ある農産物をこれからも産出し続け、地域農業の継承サイクルのもと、確実に次代につなげていくため、日本有数の食糧供給地としての責任と誇りを持ちながら、地域の基幹産業である農業が持続可能で魅力ある産業として発展できるよう、皆さんとともに効果的な取組を進めます。

- 農業と食に関する活性化基本構想の推進
- 特色ある農畜産物振興の加速
- 担い手確保育成の強化と生産基盤整備の推進
- 先端技術の導入促進 など

産業を振興し、まちの活力へ

②地域企業の振興と企業誘致の強化

地域企業の元気は、本市の産業経済発展の「要」です。人口減少の進行に伴い経済規模の縮小が懸念されていますが、地域企業もつ技術力を活かし、生産性の向上を図りながら継続的に発展できるよう、人材獲得やICTの導入、業務拡大等の取組を支援します。

また、経済情勢の改善や生産年齢人口の減少に伴い、雇用の需給バランスは供給不足の状況にある一方、雇用のミスマッチが生じている状況にあることから、求職者の希望を叶える職業や職種のバリエーションを増やすため、企業誘致を推進するほか、働き方改革に合う職場環境の改善促進、女性が安心して結婚、子育てができるような環境構築に企業の皆さんとともに取り組み、雇用の安定と人口の定着を図ります。

- 地域企業の元気づくり
- 企業誘致の強化と企業団地の整備
- 雇用対策の強化（地域雇用活性化推進事業、人材確保等） など

人を呼び込み新たな息吹に、そして若者の熱意と創意を地域の活力に

③移住定住の促進と若者がチャレンジできる環境づくり

日本は今までに経験したことのない人口減少社会に突入し、とりわけ本市を含めた地方都市では、より顕著な進行が見込まれています。地域に新たな息吹をもたらす移住者を歓迎し、積極的にサポートする地域を皆さんとともに創り上げ、地域の活力につなげていきます。

また、いつの時代も、若者の創意あふれる発想と勇気ある行動が、新しい時代を切り拓いてきました。今こそ若者の熱意と創意が必要なときです。様々な分野において、夢や希望に向かって邁進する若者を地域をあげて応援するとともに、何度でもチャレンジすることができる地域社会を皆さんとともに創造します。

- 移住・定住促進アクションプランの積極展開
- シティプロモーションの推進
- 若者の「夢」を叶える創業支援の推進
- 新規就農者の育成 ○ベンチャービジネスへの支援 など

地域をあげて結婚・子育てを応援

④結婚・出産の希望をかなえ子育てしやすい環境づくり

子どもは、かけがえのない地域の宝です。市民の皆さんをはじめ企業や団体などと連携しながら、地域全体で子育てを応援していきます。そのために必要な支援については、子育て世代の意見を伺いながら継続的に検討していきます。

また、結婚への思いを叶えます。出会いから結婚まで切れ目のないサポート体制の構築に向けた取組や、子育てと仕事の両立に向けた企業が取り組む環境整備への支援、男性の育児参加促進を通じ、女性が活躍できる地域社会を実現し、大仙市でのライフイベントが最高のものとなるよう、地域をあげて取組を進めます。

- 出会いのきっかけづくりと結婚への支援
- 子育て世代等に寄り添った切れ目のない支援制度の構築
- 子育てと仕事を両立できる環境の整備
- 子どもが郷土に誇りを持つふるさと教育の実践 など

みんなの健“幸”が大仙市を支える

⑤ともに支え合い誰もが活躍できる地域づくり

人生100年時代に突入した日本において、市民の皆さん一人ひとりが心身ともに健康で、生き甲斐をもって自分らしく幸せに暮らせる社会の実現は、持続可能な地域づくり、元気な大仙市の創造につながります。

人口減少は確実かつ着実に進行しますが、健やかで幸せに暮らせる「健幸寿命」を伸ばすという、ひとつの社会貢献に皆さんとともに取り組み、個性と多様性を認め合い、ともに支え合いながら、それぞれが活躍できる包摂性のある地域社会を形成し、誰もが住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていける地域社会を創造します。

- 高齢者が安心して健康に暮らせる社会づくり
- 地域包括ケアシステムの構築
- 誰もが活躍できる社会づくり など

地域資源を磨き上げ、新たな産業へ

⑥地方創生への挑戦

地域の元気は大仙市全体の元気、ひいては日本の元気創出につながります。地域にある資源を磨き上げ新たな産業として育成、発展させ、地域活力の創造と地域の活性化を図ります。

これまで取組を進めてきた第1の矢「大仙市花火産業構想」の深化を図るとともに、第2の矢「農業と食に関する活性化基本構想」を推進します。

さらに、戦略期間中に第3の矢の検討を進め、ここ大仙市から日本の元気を発信する取組を皆さんとともに進めます。

- 花火産業構想第Ⅱ期の推進【地域活性化第1の矢】
- 農業と食に関する活性化基本構想の推進【地域活性化第2の矢】
- 「夢」のある新たな活性化構想の立案と実行【地域活性化第3の矢】

(2) 施策の体系

基本目標	戦略パッケージ	具体的施策
基本目標 1 だいせんの未来を拓く地域産業の振興と新産業を育むまちづくり	重点施策①⑥ (1) 未来を見据えた「だいせん農業」の確立	① 新たな担い手を呼び込む農業振興
		② 大仙ブランドの確立、発信
		③ 地域企業等と連携した6次産業化と地産地消の推進
		④ 農業と食に関する活性化基本構想の推進
		⑤ 先端技術の活用による次世代農業への取組推進
		⑥ 森林の適正管理と林業後継者確保の取組強化
	重点施策② (2) 地場産業の振興と人材の確保	① 地域企業の情報発信と若者の雇用促進
		② 多様な人材の活躍に向けた環境の整備
		③ 地域企業の販路開拓支援
		④ 中小企業の経営基盤強化
	重点施策②③⑥ (3) 地域資源を活かした産業の創出と育成	① 花火産業構想の推進
		② 企業誘致の推進
③ 創業支援の強化		
(4) 商業の振興と魅力向上	① 地域商業の活性化	
基本目標 2 魅力にあふれ愛着と誇りが持てる新たな人の流れを生むまちづくり	重点施策③ (1) 移住・定住とAターンの促進	① 大仙市移住・定住促進アクションプランの推進
		② 若者を中心としたAターンの促進
		③ 子育て世代にとって魅力的なまちづくり
		④ 子どもが郷土に誇りを持てるふるさと教育の推進
	重点施策③ (2) 関係人口の創出と拡大	① シティプロモーションの推進
		② だいせん応援団とのつながり強化
	(3) 観光振興と交流人口の拡大	① 花火をはじめとする地域資源を活かした観光振興
		② 歴史や伝統文化を活かした地域活性化策の推進
		③ スポーツを通じた交流人口の拡大
	(4) 地域資源を活用したインバウンド観光の推進	① 外国人観光客向けの積極的な観光情報発信
		② 特色ある花火大会と観光資源を結び観光ルートの開発

基本目標	戦略パッケージ	具体的施策
基本目標 3 結婚・出産の希望をかなえ子育てに喜びと安心を感じられるまちづくり	重点施策④ (1) 出会いのきっかけづくりと結婚への支援	① 結婚に対する意欲の向上と意識の醸成
		② イベント等によるきっかけづくり
	重点施策④ (2) 妊娠から子育てまでの切れ目のないサポート	① 妊娠・出産への安心サポート
		② 保育サービスの充実
		③ 子育て・家庭教育への支援
		④ 多様な子育てニーズへの支援
重点施策④ (3) ワークライフバランスの推進	⑤ 子育て世帯の経済的負担の軽減	
	① 男性の育児参加の促進	
基本目標 4 地域の生活を守り未来につなぐ元気あふれる地域づくり	(1) ネットワーク型コンパクトシティの推進	① 機能集約型都市構造への転換推進
		② 公共交通ネットワークの維持
		③ 地域拠点、生活拠点の形成促進
		④ ファシリリティマネジメントの強化
		⑤ 道路・橋梁の老朽化対策の推進
	重点施策⑤ (2) 地域の支え合いによる持続可能な地域コミュニティの形成	① 雪対策の推進
		② 買い物弱者を支える取組の推進
		③ 空き家対策の推進
		④ 地域住民が主体となった組織づくりの推進
		⑤ 生涯を通じ多様な人材が活躍できる地域社会の形成
重点施策⑤ (3) 健康で安心して暮らせる地域づくり	① 地域との協働による健康づくりの推進	
	② 安全・安心体制の充実	
	③ 公園・緑地の適正配置と活用促進	